

■平成28年度 第4回 大和市街づくり推進会議 会議録■

- [会議名称] 平成28年度 第4回 大和市街づくり推進会議
[開催日時] 平成29年3月13日(月) 15時30分から17時
[開催場所] 大和市文化創造拠点シリウス 610大会議室
[出席委員] 9名(欠席:2名)
[出席]: 饗庭 伸/宇津木 朋子/江村 郁子/須賀 良二/菅 孝能/
仲村 邦弘/星野 澄佳/南 真美/吉田 洋子
[欠席]: 黒石いずみ、松本 久美
[事務局] 4名(街づくり推進課長、街づくり推進担当3名、)
[担当課] 街づくり計画部 街づくり推進課 tel.046-260-5483
[傍聴者] 0名
[公開の状況] 公開

=====

I. 会議次第

-
1. 開会
 2. 報告
 - 平成28年度の街づくりの推進について
 - 第2回やまと・ブランド・発見について
 3. その他

II. 内容

-
1. 開会
 2. 報告
 - 平成28年度の街づくりの推進について
 - 第2回やまと・ブランド・発見について
 3. 各委員からの任期満了に伴う感想

質疑応答 (○…委員 ▼…市)

■平成28年度の街づくりの推進について

事務局より、平成28年度の街づくりの推進について、街づくり年次報告書を基に報告した。

- (市街地再開発事業や区画整理事業について) 解散したものに関しては、今後記載はどうするのか。
▼表記の仕方も考えなければならない。市街地開発事業が行われたエリアの記載を、全く載せないこと

にしてしまうと経過がなくなってしまう。ただ、今はもう組合の活動自体は行っていない。年次報告書自体が、今年度行ったことの報告だけではなく、どのような街づくりを行っているのかの説明も兼ねている。表記については少し考えたいと思う。

▼今年度は大和駅をテーマに、街づくり学校基礎コース、専修コース、やまと・ブランド・発見と、3回共通のテーマで開催し、参加者数も徐々に少なくなってきた。やまと・ブランド・発見自体の成果も考慮したうえで、今後の開催について考えていきたい。

○11ページのやまと街づくりメールマガジンについて、前回参加したやまと・ブランド・発見で初めて存在を知ったのだが、これは広報などで、メールマガジンへの登録を紹介しているものなのか、それとも少人数での配信を想定しているものなのか。

▼スタートとしては、街づくり学校に参加された方に、これからもご案内をさしあげたいという理由ではじめた。そういう意味で全市的には行っていない。配信範囲を広くすると、全く興味のない方にも送信することになる。ただ、参加者自体の人数が少ないので、少しそこは考えたい。長い時間かけ、徐々に人数が増えてここまできた経緯がある。

▼街づくり学校の参加者やホームページで周知をしている。サポーターにも周知や登録をお願いしているが、街づくり推進会議委員の皆さまにしっかり周知ができていなかったことは反省したい。

○街づくりにおいて、区画整理事業や再開発事業だけでなく、その街を維持していく活動が重要になっている時代だ。3ページの建築協定など、そのようなところも、運営委員会なども街づくり組織に入れて報告していった方が良いのではないか。建築協定は更新されて終わりではなく、その後も努力され維持されていくものであるのだから、そのような活動も掲載するべきだと思う。

▼つきみ野6丁目建築協定は、長い時間をかけ地区計画になった。このように更新したところは更新時期には掲載しているが、なかなか地区計画になるのは難しい。本当はこのように更新したところから地区計画へ検討する旨の話もあったが、なかなか難しい。昔は部内の建築指導課と街づくり担当課で地元に入り業務を行ったりもしたが、最近は大火になっている。今も声掛けはしており、更新の時期には掲載をしている。

○区画整理事業に関しても、終わった後のことをしっかり報告したほうが良い。

▼9ページの区画整理組合も下福田と山谷南双方とも組合設立認可がされ、どちらも生産緑地を多く抱えた地域である。そのため今後農政部局とも調整が必要だ。この地域も地区計画をかけていく予定である。

○昨年も言った気がするが、年次報告書を読んでも、やや淡々としている印象を受ける。これを読んでも、街づくりがどのようなになっているのかイメージがわからない。立派なものを作るのはエネルギーがかかるし、悪いことではないが、もっと戦略的に情報を伝達できるようにしないといけない。やまと・ブランド・発見も面白かったが人がなかなか集まらず、どうしたものかと考えた。メールマガジンの手法は古い。今はツイッターなど様々な手段がある。それらを活用するとういと思う。

市民に郵送をするための予算はあるのか。

▼それはある。

○世田谷区は街づくりが盛んな地域だ。何かの機会に名刺を渡すとダイレクトメールがたびたび来る。街づくりニュースやPRしたいことの内容をたくさん封入して送られてくる。その様にしていくと、街はより活性化すると思う。

○宣伝の仕方は饗庭先生のおっしゃることを、よりもっと大和的な内容で、先述の内容の行間のような内容があるといい。具体的な内容の掲載が少ないので、具体的な内容をより付け加えると、自分の考えている街づくりが実現する実感がわくと思う。

■第2回やまと・ブランド・発見について

事務局より、第2回やまと・ブランド・発見について資料をもとに報告を行った。

▼街づくり年次報告書は、概要版も作成しているが、今回は大和駅シリーズで行った経緯もあるので、もう少しボリューム感のあるものを作成したいと思っている。中央林間で開催した第1回目は、その地域に住んでいた方の参加も多く、事前の申し込みが多かった。今期は大和駅がテーマであり、そういった意味で住民数の関係で事前の申し込みが少なかったのかもしれない。あるいは周知の仕方だったのかなのかも今後のため考えなければならない。

○来年度は景観形成事業の街づくり賞となるのか。

▼来年度はその予定だ。翌年は再度やまと・ブランド・発見となる。ただ、もう少しテーマを絞りよく考えていかないと、また参加人数が少なくなってしまう。

○今回のやまと・ブランド・発見をまとめた結果は、地元の街づくり組織、例えば再開発組合などに報告したほうが良いと思う。地元の方も、普段なかなか意見を聞けない純粋な市民の方のご意見を聞いたがっていると思う。

▼今回の結果を報告してほしいとおっしゃる市民の方もいた。もちろんまとめたうえで公開していきたいと思う。

○中央林間と大和の違いは、土地の持ち主と事業者とが違っているところが挙げられる。

○今回、企業などは来なかったのか

▼今回はいらっしやらなかった。

○企業が参加すれば、自分たちの意見がどのように街づくりに反映されるのか気になり、普段あまり街づくりに関心のない方も参加されるのではないかと。

○最近色々な公共施設の管理は指定管理者制度を取っているが、その指定管理者たちにも地域のことを知ってもらった方がいいと思う。行政とは違った見方や考え方を提供してもらい、地域の活性化につながる可能性がある。

○こういった街づくりの資料を常設する場所はないのか。

▼常設はすぐには難しいが、図書館などにも様々なスペースがあり、まとめたものがあれば一定期間展示もできるが、他の団体との兼ね合いもあるので、難しい部分もある。街づくりに限定することは難しいが、市の活動としてPRするスペースもあるので、そういったところで行っていきたいと思っている。

○参加者の方々は全員市内の方だったのか。

▼今回は全員市内の方である

○市外から大和市に興味を持った方にも来てもらった方が良いのではないかと。

■委員の皆様から今任期の感想をいただいた。

■閉会

以上